

災害時緊急連絡先

- 保健所生活衛生課 動物愛護グループ

0532-39-9127

HP：市TOPから **動物愛護** **検索**

- 豊橋市災害対策本部

0532-51-2055

- 第一かかりつけ動物病院

() ☎ -

- 第二かかりつけ動物病院

() ☎ -

- ◎ 第一指定避難所

() ☎ -

- ◎ 第二指定避難所

() ☎ -

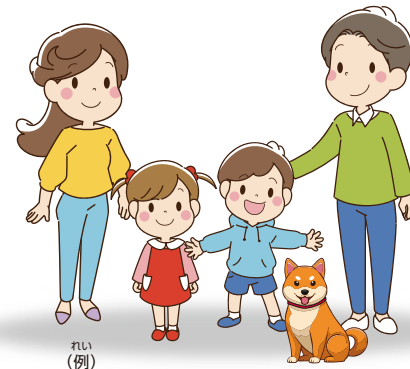
- ☆ その他緊急時連絡先 (ペットの預け先等)

() ☎ -

() ☎ -

ペット防災手帳

家族と一緒に写っているペットの写真



住所 〒 -

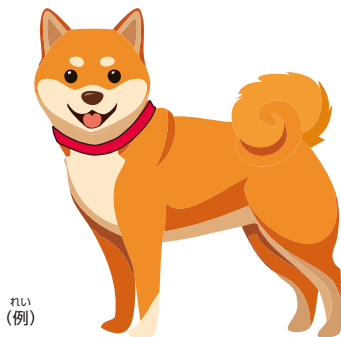
氏名

電話番号 ()

携帯電話 - -



ペットの特徴が分かる写真



れい
(例)

名前			年誕生
ペット動物	犬・猫・その他()		
品種		体色	
性別	おす・めす【不妊／去勢手術：済・未】		
登録番号 (犬の場合)	おお 大さ たいじゅう (体重)	だい 大・中・小 (kg)	
マイクロチップ	有 無		
その他特徴			

ペットが複数の場合はこのページをコピーして写真添付、必要事項記入後、のりしろ部分に貼り付けてください。

動物のための持ち出す物リスト ☒ check!

第一優先物品

- ☐ 最低5日分のフード、水 ☐ 必要な薬、療法食
- ☐ 食器 ☐ 予備の首輪、リード
- ☐ ケージ(ケガ・逃走防止のため、移動時や、避難時に使用)



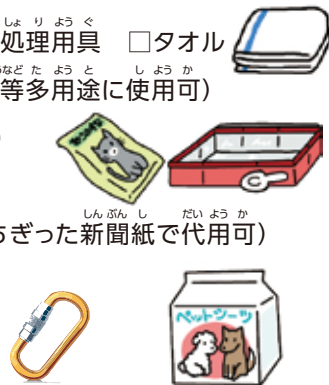
第二優先物品

- ☐ 豊橋市ペット防災手帳 ☐ ワクチン接種状況



第三優先物品

- ☐ ペットシート ☐ 排泄物の処理用具 ☐ タオル
- ☐ ガムテープ(ケージの補修等多用途に使用可)
- ☐ 洗濯ネット(猫の逃走防止)
- ☐ 猫砂等、トイレ用品
- (ダンボール、ビニール袋、ちぎった新聞紙で代用可)
- ☐ カラビナ
- (犬をつなぐときに使用可)



災害が発生したら

- まずは、自分の身の安全を確保しましょう。
- 飛び出し・隙間への逃げ込み・硬直といった、普段では見られない行動をする場合があります。飼い主が落ち着いてペットの安全を確認してください。
- 犬はリードを付け首輪のゆるみを確認し、猫は洗濯ネットに入れてケージに入れてください。
- ペットも興奮している場合があります。かまれる等思わぬケガをしないように気をつけてください。
- 避難するときは見知らぬ動物には近づかず、不用意に手を出さないでください。



飼い主のみなさんへ

災害は突然起こります。この手帳は、いざというとき、あなたの家族とペットがともに安全に避難でき、一緒に暮らせるための手引として作りました。家族で話し合い、必要事項を記入後、非常持ち出し袋等に入れていつでも持ち出せるようにしてご活用ください。

日頃からの心構えと備え

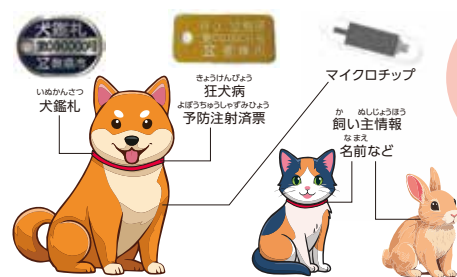
- 狂犬病予防接種と各種ワクチン接種
- ノミ・ダニ等寄生虫駆除、フィラリア予防
(多数のペットや人が集まる避難所は、様々な病気がうつるおそれがあります)
- 不妊去勢手術
(他のペットとのトラブルを防ぐため)
- 飼育場所に倒れやすいものがないか点検
- 首輪・くさりの点検
(首輪と首の間に指が2本入るくらいが適正サイズです)



鑑札・迷子札をつけましょう

災害時の混乱の中ではペットもパニックになり、迷子になるかもしれません。室内飼いの犬や猫にも、常に首輪を付けましょう。

- ① 犬の場合、鑑札・注射済票を首輪に付けましょう！
- ② マイクロチップを装着しましょう！



マイクロチップとは体内埋込み式の固体識別装置で、世界で唯一の15桁の番号が記録されています。



鑑札・狂犬病予防注射済票は首輪に付けることが義務付けられていますが、長い間放浪しているとやせて首輪が外れてしまうこともあります。鑑札・注射済票とマイクロチップの併用が効果的です。

※チップ装着は動物病院でできます（有料）。

※チップを読み取るリーダーは保健所などにあります。

おすすめ

携帯電話にペットの写真を保存しておくと、ポスター作成や飼い主の証明に使えます。



基本的なしつけで 家族の一員から社会の一員へ

避難所では、大勢の人や見知らぬ動物と一緒に集団生活になります（ペットは基本的に同室に避難できるとは限りません）。動物を嫌いな人や、アレルギーを持つ人もいます。他の人に迷惑にならないように普段から基本的なしつけをしておきましょう。これは周りの人のためであると同時に、ペット自身のストレスを減らすことにつながります。

- 「おいで」「おすわり」「まて」
（どんなときでも呼べば必ず来るようにしておけば、ペットと離れ離れになる可能性を低くします）
- 人やほかの動物を怖がったり、攻撃的にさせない
- 不必要に鳴かせない
- 決められた場所での排泄
- ケージに慣れさせる

（中でエサを与える、いつも使っている毛布を敷くなど、ケージに良い印象を持たせて少しずつ慣らしていき、初めての場所でも落ち着ける居場所を作っておきましょう）

